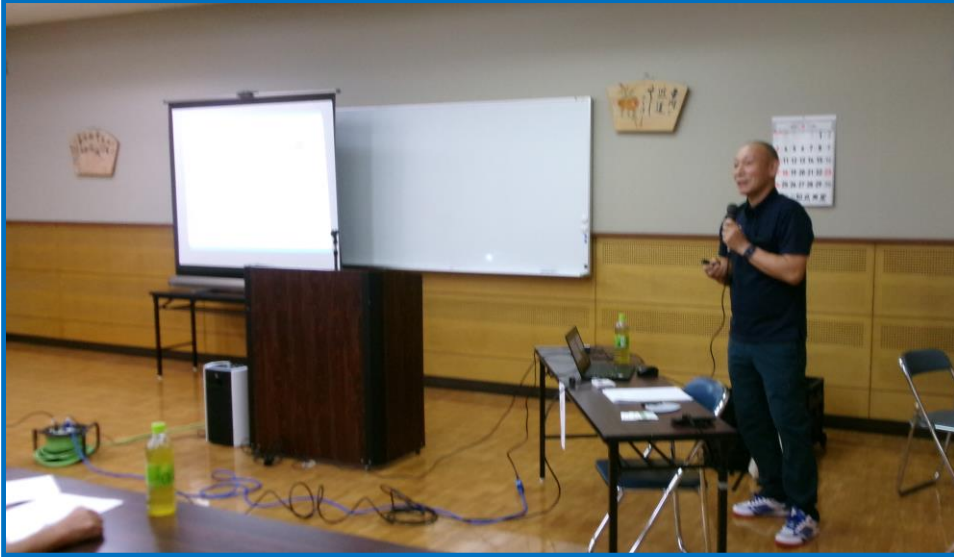


防災講演会を実施しました

9月6日に奈狩江地区コミュニティセンターで「防災講演会」を実施しました。大分大学減災・復興デザイン教育研究センターの板井幸則さん(防災コーディネーター)から「地域の災害リスクを知り、避難する!」と題して講演がありました。



講師の板井さんは、東日本大震災では大分県緊急消防援助隊臼杵隊隊長として釜石市へ赴き、人命救助活動を行われました。



奈狩江地区の区長、消防団幹部、民生児童委員、防災士、自治協から35人の参加があり、メモをとりながら熱心に受講されていました。

- 避難訓練を通じ災害をイメージする。避難訓練は失敗する場である。
- 避難するタイミング(避難スイッチ)は「自分の判断」で!
- 大人は避難をためらう。最終的にはまわりの人の声掛けが大切。
- ハザードマップなどで、日ごろから自分の場所の危険リスクを知っておく。
- 家族で防災会議
- 命を守る3つの約束
 - ①(朝)ご飯を食べる (いつ災害がおきるかわからない食べれるときに食べる)
 - ②寝る前に服を準備 (明日着る服を決めておく)
 - ③靴をそろえる (すぐに逃げれる)

住民自治協議会だより

奈狩江地区住民自治協議会

奈狩江地区コミュニティセンター内
奈狩江地区住民自治協議会